

第14回身近な水環境の全国一斉調査 状況写真 調査グループ名 : 矢作川環境技術研究会
調査河川等の名称 : 矢作川水系 (本川・支川)

(1)



写真1 No.1 地点 柳川 矢作川源流の碑付近
(河床の微地形が昨年と比べ変化した。)



写真2 No.1 地点 柳川
同左 淵が出来た (左岸から右岸方向)



写真3 No.1 地点 柳川
同上、下流方向 (左岸は生長したヤナギ群落)



写真4 No.1 地点 柳川
同左、右岸上の整地された広場 (駐車場)



写真5 No.2 地点 上村川上流
明林橋 (上流側) 右遠方 : 明治用水水源涵養保安林



写真6 No.2 地点 上村川上流
同左、橋直上 (以前淵の所が砂礫で埋まり早瀬の状態)



写真7 No.2 地点 上村川上流
同上、橋直下 (瀬の状態)



写真8 No.2 地点 上村川上流
明林橋 (上流左岸側からの景観)

第14回身近な水環境の全国一斉調査 状況写真 調査グループ名 : 矢作川環境技術研究会
調査河川等の名称 : 矢作川水系 (本川・支川)

(2)



写真9 No.46 地点 飯田洞川

中広橋から上流方向 (河床状況は昨年と変わらない。)



写真10 No.46 地点 飯田洞川

中広橋から下流方向 (河床状況は昨年と変わらない。)



写真11 No.46 地点 飯田洞川

(河床状況は昨年と変わらない。)



写真12 同左、鯉のぼりが並ぶ川の風景

自然河床(瀬)の下側に施工された流路工は、緩傾斜床固工にして早瀬を呈し自然に馴染んでいる。



写真13 No.5 地点 根羽川上流・小戸名川

透視度測定 (>60cm)



写真14 No.5 地点 (同左)

気温測定 (傘で直射日光を避けて)



写真15 No.5 地点 (同上)

水温測定 (日陰で、14.2℃)



写真16 No.5 地点 (同左)

水質測定 (CODパケットテスト、1 mg/l)

第14回身近な水環境の全国一斉調査 状況写真 調査グループ名 : 矢作川環境技術研究会
 調査河川等の名称 : 矢作川水系 (本川・支川)

(3)



写真 17 No.3 地点 上村川下流
 鶴鴿 (せきれい) 橋下流 (左岸側から)



写真 18 No.4 地点 根羽川下流
 国界橋下左岸 (上村川合流前)、水質測定



写真 19 No.45 地点 名倉川下流・押山大滝
 岩盤上左岸側から滝つぼ (下流方向)



写真 20 奥矢作湖 (愛知高原国定公園内)
 (東海豪雨でダム湖に溜まった土砂を取り除く作業が進められているが、浚渫した土砂の処理も課題になっている。)



写真 21 奥矢作湖 (愛知高原国定公園内)
 矢作ダムによる人造湖 (総貯水容量 8000 万 m³)



写真 22 矢作ダム堤体 (愛知高原国定公園内)
 アーチ式 (流域面積 504.5km²)



写真 23 矢作第二ダム (愛知高原国定公園内)
 人造湖 (総貯水容量 435.4 万 m³)
 淡青緑色 (フォーレル水色標準液 9 番)

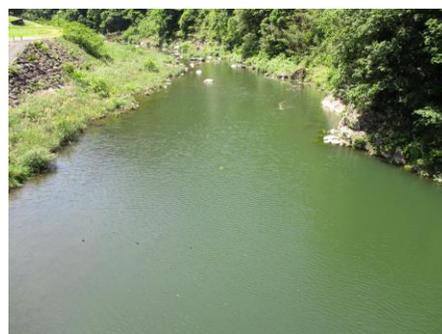


写真 24 No.47 地点 矢作川上流
 奥矢作橋 (橋中央から上流方向)

第 14 回身近な水環境の全国一斉調査 状況写真 調査グループ名 : 矢作川環境技術研究会
 調査河川等の名称 : 矢作川水系 (本川・支川)

(4)



写真 25 No.47 地点 奥矢作橋 (右岸～水面)
 淡黄緑色 (フォーレル水色標準液 11 番)



写真 26 No.47 地点 矢作川上流
 奥矢作橋 (橋中央から下流方向)



写真 27 同上、右岸辺の河床状態
 糸状緑藻類が水底の河床礫を被う



写真 28 同上、右岸辺の河床状態
 下流側も糸状緑藻類が水底の河床礫を被う



写真 29 同上、採取した糸状緑藻類を水環境の
 COD 調査キットビニル袋に入れた外観



緑藻 (ホシミドロ科)、(左 50 倍) (右 200 倍)

写真 30 同左、ホシミドロ科アオミドロ属 *Spirogyra*
*sp.*のなかにホシミドロ属 *Zygnema sp.*が混じる。



写真 31 No.48 地点 明智川下流
 川ヶ渡橋 (右岸から)



写真 32 No.48 地点 明智川下流
 同左 (河床状況は昨年と変わらない。)